

## 刈谷市子ども・子育て支援事業計画(H27-R1)実施状況

	基本施策	施策数	掲載頁
基本目標1 地域における子ども・子育て支援	1-1 多様な子ども・子育て支援サービスの提供	8	35
	1-2 幼児教育・保育の充実	7	36
	1-3 児童館運営の充実	2	36
	1-4 交流と子育てネットワークづくりの充実	10	37
	1-5 子育てサービス利用者支援体制の構築	7	38
基本目標2 仕事と子育ての両立支援	2-1 多様な保育サービスの充実	6	39
	2-2 放課後児童クラブの充実	2	40
	2-3 男女が協力して行う子育ての推進	8	40-41
基本目標3 子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり	3-1 妊娠・出産への支援	5	42
	3-2 子どもの成長・発達への支援	6	43
	3-3 小児医療体制の充実	2	43
基本目標4 支援が必要な子ども・家庭への支援	4-1 障害のある子どもへの支援	10	44-45
	4-2 児童虐待防止対策の充実	4	45
	4-3 ひとり親家庭への支援	8	46
	4-4 経済的負担の軽減	9	47
基本目標5 子どもがのびのびと育つ教育環境づくり	5-1 生きる力を育てる学校教育の推進	6	49
	5-2 子どもに寄り添った支援の充実	3	49-50
	5-3 開かれた学校づくりの推進	6	50
	5-4 地域で多様な経験や価値観を学ぶ場づくり	6	51
基本目標6 子どもにやさしいまちづくり	6-1 子育てを支援する都市環境の整備	3	52
	6-2 安全・安心なまちづくり	8	53
	6-3 遊び場の確保	4	54
	計	130	

刈谷市子ども・子育て支援事業計画進捗管理シート

施策一覧

網掛は、目標達成年度

H29目標とR元目標  
それぞれで評価

太枠内は、量の見込みと確保の内容の対象施策

基本目標1 地域における子ども・子育て支援

頁—「刈谷市子ども・子育て支援事業計画」の中での頁数

基本施策	施策	内容	指標項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R元目標	実績詳細(令和元年度)	R元年度までの総括	担当課	頁	
1-1 多様な子ども・子育て支援サービスの提供	1	ファミリー・サポート・センターの充実	育児の応援をしてほしい人と応援をしたい人が会員になって助け合う「ファミリー・サポート・センター」の充実を図ります。講習会、交流会等を開催し、援助に必要な知識・技術を高め、会員同士の親睦を深めます。	利用者数(人)	3,525	4,945	4,947	5,266	5,451	5,500	会員数:3,644人 年3回広報誌での会員募集を行いました。そのうち1回は特集を組んでファミリー・サポート・センターの相互援助活動を周知するとともに、両方会員の獲得に努めました。	広報等で制度の周知や会員募集を行い、援助会員、依頼会員を増員し、目標人数をほぼ達成することができました。また、講習会の開催やガイドライン、活動の手引きに則して、援助に必要な知識・技術の向上を図ることで、ファミリー・サポート・センターの活動の充実を図ることができました。	子育て支援課	35 66 68
	2	ショートステイの充実	保護者が傷病等により、家庭における児童の養育が一時的に困難となった場合に、県内の委託施設や登録養育者により、一定期間養育を行うショートステイの充実を図ります。	利用者数(人)	13	0	23	20	27	40	児童養護施設及び乳児院等への委託により、希望に応じて利用できるよう調整しました。 利用人数はのべ27人でした。	H30年度より、委託施設を1か所追加しました。	子育て推進課	35 64
	3	臨時保育室(カンガールーム)の充実	子育て中の親が、社会活動や学習活動等に参加できるよう、各種講座、イベント、市議会等の開催時、託児サポーターが保育を行う「臨時保育室(カンガールーム)」の充実を図ります。	設置事業数(件)	106	99	108	119	123	120	関係機関に事業を周知することで、講演会や講座開催時の利用の促進を図りました。	多くの事業で臨時保育室を設置し、子育て中の保護者が社会活動や学習活動などに参加できるよう託児支援を行うことができました。	子育て支援課	35
	4	育児ママ訪問サポートの充実	育児に関する悩みを傾聴するなど、支援を必要とする家庭に訪問員を派遣し、母親の不安の軽減を図ります。また、地域の子育て支援に関する情報提供を行うなど、他の子育て支援サービスへのつなぎを行い、子育てにおける母親の孤立化の防止につなげます。	申込者数(人)	34	21	36	47	40	50	4か月健診で事業内容の周知及び利用勧奨を行いました。また、事例検討会を開催し、ニーズに即した支援を実施できるよう努めました。	4か月健診で事業内容の周知及び利用勧奨を行うことで、多くの方に利用していただきました。また、事例検討会を開催し、ニーズに即した支援を実施できるよう努めました。	子育て支援課	35
	5	地域子育て支援拠点の充実	子育て支援センター等の地域子育て支援拠点において、各種行事やイベント、講座等を通して、親同士の交流の場や、子育てに関する情報を提供します。	来所者数(人)	159,725	168,838	160,488	166,376	148,076	170,000	・父親向けの「パパも一緒に子育て講座」を4回実施。また毎月主に第4土曜日に「おとうさんと遊ぼうDAY」を実施しました。 ・若年層の母親向けに「若いママのための手作り玩具」の講座を継続的に実施し、子育てサークルまでには至らなかったが仲間作りには発展しました。 ・祖父母向けの子育て講座を開催し、祖父母の積極的な子育ての参加を促しました。 ・育児おしゃべり会を年3回(6回講座)から年4回(5回講座)に変更し、より参加しやすいよう変更しました。	子育て支援センターや広場で母親はもちろん、子育てにかかわるだれもが交流したり、情報を得たりできるよう、父親や祖父母等に向けた事業や講座を開催し交流の場としたり、情報提供しました。	子育て支援課 子ども課	35 65

## 基本目標1 地域における子ども・子育て支援

頁—「刈谷市子ども・子育て支援事業計画」の中での頁数

基本施策	施策	内容	指標項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R元目標	実績詳細(令和元年度)	R元年度までの総括	担当課	頁	
	6	ブックスタートの充実	4か月児健康診査の際、「おすすめ絵本」の紹介と読み聞かせを行い、親と子が絵本を介して心とことばを 通わせるひとときを持つことを応援 します。また、「おすすめ絵本」と読み 聞かせ行事のリーフレットを図書館 等で配布し、事業の充実を図りま す。	絵本の配 布数(冊)	1,677	1,644	1,537	1,621	1,464	1,550	4か月健康診査の際、保育士による「おすすめ絵本」の紹介と読み聞かせを行うとともに、おすすめ絵本1冊とブックスタートのリーフレットを提供し、絵本を介した親子のふれあいの大切さを伝えていきました。	4か月健康診査で保育士による「おすすめ絵本」の紹介と読み聞かせを行うとともにおすすめ絵本1冊を提供し、絵本を介した親子のふれあいの大切さを伝えていきました。また、「おすすめ絵本」と絵本の講座の案内を掲載したリーフレットを図書館等で配布し、事業の充実を図りました。	子育て支援課	35
	7	おもちゃライブラリーの充実	小学生以下の心身障害児や就学前の幼児を対象におもちゃの貸出しを行い、おもちゃを通じた親子のふれあいの場、遊びの場を提供します。また、障害がある子とのふれあいを大切に、交流の機会づくりに努めます。	貸出件数(件)	6,642	7,466	7,572	7,487	7,307	7,800	障害の有無に関係なく、子どもたちの生活を楽しく豊かなものにするため、おもちゃを通してふれあいの場所を提供しました。	乳児のおもちゃを充実させ、年齢や障害の有無にかかわらずおもちゃを通じてのふれあいや発達に合わせたおもちゃの紹介をすることができました。	子育て支援課	35
	8	おもちゃ病院の運営	「刈谷おもちゃ病院」において、シニア世代の豊富な経験と知識、技術を活かし、おもちゃの修理を通して、子どもたちに「ものを大切に作る心」「ものづくりの楽しさ」を育みます。	修理件数(件)	1,520	1,420	1,409	1,325	1,215	1,600	交通児童遊園管理棟2階に拠点を置き、毎月第2と第4の土曜日、日曜日に開院し、刈谷市及び周辺地区の小学生以下の子供のおもちゃを対象に、原則無料で「診断」としておもちゃの修理を行いました。また、夢と学びの科学体験館において年間24日間簡単な無料工作の指導を行い(参加者3,190人)、別途親子ものづくり教室として年3日(全6回、参加者79組)の工作教室を開講しました。(開院日数:53日、幼保出前修理活動:16日)	刈谷おもちゃ病院では、シニア世代の豊富な技術等により、毎年1,200件以上のおもちゃを修理することができ、子どもたちに「ものを大切に作る心」を育みました。また、ものづくり教室などを開催したことで、子どもだけでなく、親子でも「ものづくりの楽しさ」を体験できる機会を創出しました。	子育て推進課	35
1-2 幼児教育・保育の充実	1	保育の必要性の認定	保護者の幅広いニーズや就労形態の多様化に応えるため、保育の必要性の認定を行い、幼稚園や保育園等の円滑な利用につなげます。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	幼稚園を利用する子ども2,209人に1号の認定証を交付しました。保育所を利用する子どもの保育の必要性について審査し、3~5歳児1,465人に2号の認定証、0~2歳児824人に3号の認定証を交付しました。	幼稚園又は保育園等を利用しようとする教育・保育給付認定保護者からの申請により、子ども・子育て支援法に基づき、適切に認定証を交付した。	子ども課	36 59 60 61
	2	保育環境の向上	安全で快適な施設を維持するための計画的な改修等や事務改善を行い、保育に必要な教材の研究や準備にかかる時間を増やし、保育環境の向上に取り組めます。	大規模改造・建替した園舎数(園)	2	4	7	7	8	9	安全で安心な施設維持や保育環境の向上として、公共施設維持保全計画に基づき井ヶ谷幼稚園の大規模改造工事、慈友保育園の大規模改造設計業務委託、かりがね保育園の外壁等改修工事、富士松南幼稚園、富士松北幼稚園及び朝日幼稚園の外壁改修工事並びに富士松北幼稚園及びかりがね幼稚園の空調設備改修工事を行います。また、小高原幼稚園及び日高幼稚園でダムウェーター改修工事を行いました。さらに、保育環境の向上につながる教材研究の時間確保のため、幼稚園・保育園の全園で業務改善に取り組めました。	施設職員と調整の上、現在のニーズに合った建物仕様となるよう工事を行い、保育環境の向上が出来る。	子ども課	36

件数は減少傾向だが、年間1,200件以上を修理

## 基本目標1 地域における子ども・子育て支援

頁―「刈谷市子ども・子育て支援事業計画」の中での頁数

基本施策	施策	内容	指標項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R元目標	実績詳細(令和元年度)	R元年度までの総括	担当課	頁	
	3	幼稚園・保育園における教育・保育の充実	幼稚園教育要領や保育所保育指針を踏まえて、子どもたちが心と体を十分働かせて遊んだり、豊かな体験をして個々の発達を促したりすることができる質の高い教育・保育を提供します。	研修参加率(%)	76	100	100	100	100	100	子どもの望ましい生活の保障と保護者のニーズに対応した方策を研究し、教育内容・保育内容を理解し合うための幼稚園教諭・保育士の合同研修を17回と、幼稚園保育園の体験研修を2回実施しました。	子どもの望ましい生活の保障と保護者のニーズに対応した方策を研究し、教育内容・保育内容を理解し合うための幼稚園教諭・保育士の合同研修と、幼稚園保育園の体験研修の実施を継続することで、幼児教育・保育の充実に努めてきました。	子ども課	36
	4	待機児童の解消	0～2歳児の待機児童の増加に応えるため、保育園の新設や増改築、年齢ごとの定員数を調整するなどの方策や幼稚園の預かり保育の充実により、待機児童の解消に取り組みます。	待機児童数(人)	9	12	8	11	11	0	民間保育所「城のうさぎ保育園」及び「ことり保育園」の新設により定員を180人増加しました。また、公立保育園4園を乳児型保育園へ段階的に移行を進めるとともに、公立幼稚園16園を幼保連携型認定こども園に移行しました。待機児童は令和2年4月1日時点で11人です。	民間保育所の新設を支援することや一部の公立保育園を0～2歳児の受入れに特化した乳児園に段階的に移行する準備を進めるとともに、3～5歳児の受入れ先の確保に向けて公立幼稚園を幼保連携型認定こども園に令和2年度から移行することで、待機児童の解消に努めた。	子ども課	36
	5	地域型保育の実施	利用者が多様な施設や事業の中から選択できるよう、小規模保育、家庭的保育、事業所内保育、居宅訪問型保育を市の認可事業とし、地域型保育給付の対象として位置付けます。	実施園数(園)	0	0	0	0	0	0	地域型保育の実施予定はありません。	計画期間内において、地域型保育の実施及び実施予定はありませんでした。	子ども課	36
	6	ほのぼのルームの充実	未就園児及びその保護者を対象に、相談・遊び・交流の場として、幼稚園の施設を開放するとともに子育て相談を実施します。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	幼稚園16園で毎月2回(5月～3月)ほのぼのルームを実施し、未就園児及びその保護者を対象に、相談・遊び・交流の場として、幼稚園の施設を開放するとともに子育て相談を実施し、地域における子ども・子育て支援に努めてきました。	幼稚園16園で毎月2回(5月～3月)ほのぼのルームを実施し、未就園児及びその保護者を対象に、相談・遊び・交流の場として、幼稚園の施設を開放するとともに子育て相談を実施し、地域における子ども・子育て支援に努めてきました。	子ども課	36
	7	幼稚園・保育園の連携	幼稚園の教諭と保育園の保育士の合同研修、人事交流を図るとともに、保護者のニーズに対応した方策を研究・検討し、実施します。	研修回数(回)	11	11	11	17	17	11	子どもの望ましい生活の保障と保護者のニーズに対応した方策を研究し、教育内容・保育内容を理解し合うための幼稚園教諭・保育士の合同研修と、幼稚園保育園の人事異動を実施しました。	教育内容・保育内容を理解し合うための幼稚園教諭・保育士の合同研修と、幼稚園保育園の人事異動を実施するとともに、保護者のニーズに対応した方策を研究・検討し、実施することで、幼稚園と保育園の連携を図り、幼児教育・保育の充実を図ってきました。	子ども課	36
1-3 児童館運営の充実	1	科学体験による学びの場の提供	「夢と学びの科学体験館」において、科学遊びや科学体験を楽しんだり、刈谷のものづくりについて学んだりすることにより、未来を担う子どもたちの夢と学びの心を育みます。	入館者数(人)	164,724	191,908	215,172	227,504	216,321	210,000	子どもに科学の楽しさを体験してもらうため、普段学校ではできないような科学実験やサイエンスショーを開催しました。また、外部団体との連携を図り、魅力ある講演会や講座などを開催しました。 【ラボ実験講座】土・日・祝・学校等の長期休み期間 1日4～8講座程度、【サイエンスショー】土・日・祝・学校等の長期休み期間 1日3回、【簡単工作】毎日3～4種類、【外部団体連携講座】4講座	科学実験やサイエンスショーだけでなく、外部団体と連携したイベント等を開催したことで、科学の楽しさや知的好奇心を養う機会を創出しました。また、手軽にできる体験を取り入れ、受付方法に工夫を凝らしたことで、多くの子どもが体験・学ぶことができるように努めました。	子育て推進課	36

## 基本目標1 地域における子ども・子育て支援

頁―「刈谷市子ども・子育て支援事業計画」の中での頁数

基本施策	施策	内容	指標項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R元目標	実績詳細(令和元年度)	R元年度までの総括	担当課	頁	
	2	児童館の充実	子どもや親子が、気軽に遊びや学習の場として利用できるような環境を整え、多様な講座や行事を開催します。	講座・行事参加者数(人)	4,951	4,962	4,926	5,331	4,930	5,100	<p>(【児童館職員による講座】講座数:35件、参加者数:1,102人、【外部講師による講座】講座数:105件、参加者数:3,828人)</p> <p>遊びや学びの機会づくりのため、工作等の自主事業を積極的に行いました。また、児童館職員のほか外部講師による企画を行い、季節や子どもの興味関心に応じた多様な講座・行事を開催しました。</p>	各児童館の特性を活かし、企画内容に工夫を凝らしたことで、子どもから大人まで気軽に楽しめる行事等を開催しました。外部講師による講座では、普段の児童館とは違った面白さがあり、参加者も多く大変好評でした。	子育て推進課	36
1-4 交流と子育てネットワークづくりの充実	1	地域子育て支援拠点の充実	子育て支援センター等の地域子育て支援拠点において、各種行事やイベント、講座等を通して、親同士の交流の場や、子育てに関する情報を提供します。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	4月に「わくわく子どもの日」、7月に「夏まつり」、10月に「おたのしみ会」、12月に「クリスマス会」などのイベントを実施したり、発達に関すること、子どものふれあい方、お父さんも一緒に子育て講座など、様々なテーマで子育てに関する情報を提供しました。また、3回及び6回の連続講座のサロン等も実施し、親同士の交流の場作りを実施しました。	季節に合わせた行事やイベント、子育て講座等を通じて親同士の交流の場や子育てに関する情報を提供することができました。	子育て支援課 子ども課	37
	2	子育てサークルの育成・支援	育児に関する情報交換、親子の仲間づくりの機会となるよう、子育てサークルの育成、活動の相談、活動の場の提供等を行います。	活動場所の提供回数(回)	351	383	416	436	398	440	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サークル活動を通して、親同士が互いに支えあえるように、部屋の提供や活動内容のアドバイスをしました。</li> <li>・サークルの交流の場であるサークルネットワーク会議を6月と7月に実施し、活動の活性化やサークルの横のつながりを図りました。</li> <li>・10月～11月にかけて、子育て応援隊に派遣依頼をし、親子で楽しくふれあいながら、他のサークルと交流する機会を作り、活動内容の参考になる遊び等を提案しました。</li> </ul>	子育てサークルの育成・活動の相談相談、活動の場を提供することで、育児に関する情報交換、親子の仲間づくりの機会へつなげることができました。	子育て支援課	37
	3	子育て支援ネットワーク会議の開催	子育て支援団体や子育てサークル等の市民団体のネットワークづくりを支援するため、ネットワーク会議を開催します。	参加団体数(団体)	47	38	34	52	51	52	中央子育て支援センターで27団体、南部で12団体、北部で12団体の計51団体の子育てサークルが登録して活動し、4回に分けて子育てネットワーク会議を開催したり、11回に分けて子育て応援隊を派遣して交流の場を実施したりしました。	子育てネットワーク会議を開催したり、さらに子育て応援隊を派遣して交流の場を設け、ネットワークづくりを支援することができました。	子育て支援課	37
	4	世代間交流の充実	幼稚園・保育園の園児が、小中学校の児童・生徒や地域住民との交流の機会を持てるよう、行事等における交流、老人福祉施設への訪問や地域講師の活用等の取り組みを進めます。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	行事や授業の一環として、小中学校の児童・生徒と交流活動を実施しました。地域の施設に訪問し、地域とのつながりをもちました。	幼稚園・保育園の園児が、小中学校の児童・生徒や地域住民との交流の機会を持てるよう、行事等における交流、老人福祉施設等への訪問や地域講師の活用等の取り組みを進め、世代間交流の充実に努めてきました。	子ども課	37

基本目標1 地域における子ども・子育て支援

頁—「刈谷市子ども・子育て支援事業計画」の中での頁数

基本施策	施策	内容	指標項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R元目標	実績詳細(令和元年度)	R元年度までの総括	担当課	頁
	5	民生委員・児童委員、主任児童委員の活動支援	民生委員・児童委員、主任児童委員と情報を共有し、連携を図ります。また、勉強会や児童福祉関連施設見学会等を開催し、委員の資質の向上を図り、関係部署との協働のもと、家庭訪問等を実施します。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	・地区民児協及び専門部会における児童福祉関連施設での研修や児童福祉に関する勉強会の実施:2回 ・日々の民生委員・児童委員活動の中での子育て等に関する相談・支援等の活動:180件	地区民児協及び専門部会において、児童福祉に関するテーマでの勉強会の開催や、民生委員・児童委員、主任児童委員の情報共有を行えた。また、児童福祉関連施設での研修も実施できた。 日々の民生委員・児童委員活動の中で、子育て等に関する相談に対応した。	福祉総務課	37
	6	里親制度の啓発	より多くの市民に里親制度の意義について、理解の促進を図り、里親としての協力を得られるよう、制度の啓発に努めます。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	市民だよりへの掲載及びリーフレットの配布等で周知しました。	10月「里親月間」に合わせて、里親制度の啓発をしています。	子育て推進課	37
	7	子育て支援団体・地域住民等との連携	子育て支援団体や地域住民等と連携し、親子の仲間づくりの場、しつけや遊び方を学ぶ場、地域の人との交流の場を提供するなど、地域住民による子育て支援活動を支援します。	補助金交付団体数(団体)	11	11	11	11	14	子育て支援団体に補助金を交付し、子育て支援活動を支援しました。 子育て支援団体ネットワーク会議を年2回開催し、交流の場を提供しました。	子育て支援団体に補助金を交付し、また、ネットワーク会議を開催し交流の場を提供した。	子育て推進課	37
	8	読み聞かせ活動、おはなし会の実施	図書館での絵本の読み聞かせ会、市民センターでのおはなし会等について、ボランティアグループ等の協力により実施します。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	図書館で、対象年齢に合わせたおはなし会を開催しました。 中央図書館38回、城町図書館11回、富士松図書館11回	図書館では、対象年齢に合わせたおはなし会を月ごとに開催しました。令和元年度は、新型コロナウイルスのため、おはなし会の中止があり、開催回数が減りました。	生涯学習課	37
	9	放課後子ども教室の実施	放課後の子どもたちの活動拠点として、小学校の余裕教室等を活用し、地域住民、放課後児童クラブとの交流の中で遊びや学習、体験活動を行い、子どもの安全・安心な居場所づくりを推進します。	開設か所数(か所)	13	14	14	15	15	総登録者1,361人、延利用者数26,364人、延開催日数875日。	放課後子ども教室を全小学校(15校)で開設し、子どもの安全・安心な居場所づくりの推進ができた。	生涯学習課	37
	10	中学生・高校生の居場所づくり	中高生等の若者が気軽に立ち寄ることができる居場所を提供し、同世代の交流を通して、主体的な活動ができるよう若者の自立に向けた取り組みを支援します。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	中高生が放課後に気軽に立ち寄り、学習や交流等ができる居場所を提供し、また、交流や自主活動のきっかけづくりを目的として、お菓子作り等のイベントを開催しました。 延利用者数985人	中高生等が気軽に立ち寄ることができる居場所を提供し、主体的な活動ができるよう若者の自立に向けた支援ができた。 平成30年度からは学習支援を拡大したため、参加人数も増加した。	生涯学習課	37
1-5 子育てサービス利用者支援体制の構築	1	利用者支援専門員等の配置	子どもやその保護者の身近な場所に、利用者支援専門員等を配置し、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び相談・助言を行うとともに、関係機関との連絡調整を行います。	実施か所数(か所)(※専任コンシェルジュ配置か所数)	39(3)	42(3)	44(3)	44(3)	44(3)	子どもや、その保護者の身近な場所である、子育て支援センターに専任子育てコンシェルジュを配置し、利用者支援及び地域連携の拠点としての機能を置き、保健センター、子ども相談センター、子育て広場、夢と学びの科学体験館、児童館、幼稚園、保育園、しげはら園等の兼任子育てコンシェルジュとの連携体制を整えました。44施設に66人の子育てコンシェルジュを配置しました。	子育てコンシェルジュの適切な配置及び資質向上を図り、報提供及び相談・助言を行うとともに、関係機関との連絡調整を行ったことで、子育てサービス利用者支援体制を構築することができました。	子育て支援課	38 72

中間見直しにて、上方修正

## 基本目標1 地域における子ども・子育て支援

頁―「刈谷市子ども・子育て支援事業計画」の中での頁数

基本施策	施策	内容	指標項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R元目標	実績詳細(令和元年度)	R元年度までの総括	担当課	頁	
	2	子育て情報の提供	行事予定や育児の身近な情報を掲載する「子育て支援センターだより」を毎月発行し、公共施設で配布します。また、子育て情報誌等を、母子健康手帳交付時、各種手当申請時、健康診査時等に併せて配布します。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	情報をより多くの方に提供することと同時に、受け取りやすくするために「子育て支援センターだより」を奇数月、「子育てコンシェルジュ通信」を偶数月に発行と変更し、公共施設で配布するとともに、ホームページ・あいかりにも掲載しました。	奇数月に「子育て支援センターだより」、偶数月に「子育てコンシェルジュ通信」を発行し、公共施設に配布することができました。また、ホームページやあいかりに掲載したり、健診時に配布したりしてより多くの方に情報提供することができました。	子育て支援課	38	
	3	子育て情報誌・子育て支援ホームページの充実	子育てに関する行政サービスや施設等の情報を収集・整理した子育て情報誌、子育て支援ホームページを随時見直し、内容の充実を図ります。	かりやSmileねっと閲覧件数(件)	45,914	57,004	72,524	83,699	—	65,000	刈谷市公式ポータルアプリ「あいかり」において内容の充実を図りました。刈谷市の子育て情報誌である「刈谷市子育てガイドブック」を作成・配布しました。	「かりやSmileねっと」の内容および情報発信の内容を充実させ、閲覧件数の増加につなげました。平成30年度には、刈谷市公式ポータルアプリ「あいかり」へスムーズに移行しました。刈谷市の子育て情報誌である「刈谷市子育てガイドブック」を作成・配布しました。	子育て推進課	38
	4	子育て支援センターにおける相談体制の充実	子育てに関する様々な相談内容に対応できるよう、電話相談、面接相談、メール相談、グループ相談、訪問相談等を行います。	相談件数(件)	817	834	721	881	1,131	880	・子どもの発達に関する心配や精神疾患をもつ母親の育児不安、養育環境に関する事など、相談内容によって、必要な機関につなげたり、関係機関と連携をとるなど支援の充実を図りました。 ・見守りが必要な親子については、子どもが就園するまで、全職員で共通理解して支援をし、就園する際には、就園先に必要な情報を伝え、切れ目のない支援ができるようにしました。 ・親子が集まる施設へ巡回相談として年間18回行いました。	子どもの発達や母親の育児不安等、相談内容により必要な機関や支援先につなげ、情報共有をし切れ目のない支援を行いました。また、子育て広場や支援団体への巡回相談も行い、身近な場所での子育て相談も行えるよう相談体制の充実を図り、目標を上回るすることができました。	子育て支援課	38
	5	幼稚園・保育園における子育て相談・育児講座	各幼稚園・保育園において、在園児及び未就園児の保護者を対象に、子育て相談、育児講座等を実施します。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	幼稚園・保育園において、随時子育て相談や育児に関する講座等を17回開設。保護者の子育ての悩み等に対応しました。また、子育てコンシェルジュとして、未就園児の保護者のニーズに応じた支援を提案し相談に応じてきたことから、子育てサービス利用者支援体制の構築と、支援の充実を図ることができました。	子ども課	38	
	6	保育カウンセラーの巡回	臨床心理士が幼稚園・保育園を巡回し、保護者や教諭・保育士からの子育てや保育に関する相談に応じます。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	公立幼稚園16園・公私立保育園17園に臨床心理士が年2～6回巡回し、保護者や教諭・保育士からの子育てや保育に関する相談に応じました。	子ども課	38	
	7	子ども相談センターにおける各種相談体制の充実	3歳から19歳までの子どもとその保護者、親族、学校・園関係者を対象に、子どもに関する様々な相談に応じます。	相談件数(件)	1,091	655	906	963	1,260	900	関係機関(学校、市関係課、児童相談センター、警察等)と連携して、相談内容に応じて学校・すこやか教室・病院・市関係課等を紹介し、つなぎ(連絡調整)を行いました。	関係機関(学校、市関係課、児童相談センター、警察等)と連携して、相談内容に応じて学校・すこやか教室・病院・市関係課等を紹介し、つなぎ(連絡調整)を行い、3歳から19歳までの子どもとその保護者、親族、学校・園関係者を対象に、子どもに関する様々な相談に応じました。	学校教育課	38

# 刈谷市子ども・子育て支援事業計画進捗管理シート

## 施策一覧

網掛は、目標達成年度

H29目標とR元目標  
それぞれで評価

太枠内は、量の見込みと確保の内容の対象施策

### 基本目標2 仕事と子育ての両立支援

頁—「刈谷市子ども・子育て支援事業計画」の中での頁数

基本施策	施策	内容	指標項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R元目標	実績詳細(令和元年度)	R元年度までの総括	担当課	頁		
2-1 多様な保育サービスの充実	1	延長保育の充実	保護者の就労形態の多様化に 대응するため、延長保育の充実を図ります。	利用者数(人)	764	760	797	884	763	740	公立保育園ではおがきえ保育園、あおば保育園が午後8時まで、民間保育所ではこぐま保育園、第二こぐま保育園、刈谷ゆめの樹保育園、空のうさぎ保育園、刈谷大和保育園が午後7時半まで延長保育を実施し、763人の児童の利用があり、保護者の就労形態の多様化に対応しました。	延長保育を実施する保育園を4園増やすことにより、保護者の多様化するニーズに対応しました。	子ども課	39 62	
	2	休日保育の充実	保護者の就労形態の多様化に 대응するため、休日保育の充実を図ります。	利用者数(人)	1,397	1,176	2,384	2,573	3,281	1,250	保護者の就労形態の多様化に 대응するため、おがきえ保育園、あおば保育園、こぐま保育園、第二こぐま保育園、空のうさぎ保育園において休日保育を実施しました。	休日保育を実施する保育園を3園増やすことにより、保護者の多様化するニーズに対応しました。	子ども課	39	
	3	産前・産後休暇、育児休暇後の職場復帰の支援	出産前や職場復帰前から保育園への入園予約を受け付け、働く女性が安心して出産・子育てを行い、職場に復帰できる環境づくりに取り組みます。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	出産前や職場復帰前から保育園への入園予約を受け付けました。	出生前や育児休暇あけの入園希望などの入所受付を実施することで、働く女性が安心して出産、子育てを行い、職場に復帰できる環境づくりの一助となっている。	子ども課	39	
	4	病児・病後児保育の充実	子どもが病気または病気の回復期であり、集団保育が困難な期間において、一時的に子どもを預かる病児・病後児保育の充実を図ります。	利用者数(人)	379	339	412	354	312	450	中間見直しにて、上方修正(確保の内容のみ)	かりがね病児ケアルーム137人 親愛の里保育園92人 依佐美おひさまケアルーム83人 登録者数815人(令和2年3月31日時点)	保育所等に通所中で病気または病気の回復期にあり、集団保育が困難な子どもを預かることで、子育て世代の育児と就労の両立を支援することができました。	子育て支援課 子ども課	39 67
	5	幼稚園一時預かり(預かり保育)の充実	幼稚園において、出産や傷病、親族の看護・介護、就労等で通常の保育時間終了後も引き続き保育を希望する在園児に対して、一時預かりを実施し、その内容の充実を図ります。	利用者数(人)	38,611	47,902	52,988	65,372	72,716	42,000	公立幼稚園16園において、保育時間終了後と長期休業中に、就労、母親の通院、下の子の健診などの理由で在園児に対して預かり保育を実施した。試行園8園については、7時30分から8時40分までと16時30分から18時30分までの時間延長により、預かり保育の利用者が72,716人に増加しました。	幼稚園において、出産や傷病、親族の看護・介護、就労等で通常の保育時間終了後も引き続き保育を希望する在園児に対して、一時預かりを実施し、多様な保育ニーズに対応し、充実を図ってきました。	子ども課	39 66	
	6	保育園一時預かり(一時保育)の充実	定期的な就労をしていない人、育児疲れ解消等の理由で利用を希望する人に対して、小学校就学前の児童を拠点保育園で一時的に保育します。また、保護者の傷病、事故、出産、看護、冠婚葬祭等の理由により、小学校就学前の児童を状況に応じて、緊急一時的に保育します。	利用者数(人)	10,844	9,874	11,845	16,140	10,798	11,000	おがきえ保育園、あおば保育園、私立保育園4園において、10,798人一時預かりを実施し、子育て家庭への支援の充実を図りました。	一時保育実施園を1園増やすことができました。	子ども課	39 66	

## 基本目標2 仕事と子育ての両立支援

頁—「刈谷市子ども・子育て支援事業計画」の中での頁数

基本施策	施策	内容	指標項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R元目標	実績詳細(令和元年度)	R元年度までの総括	担当課	頁	
2-2 放課後児童クラブの充実	1	放課後児童クラブの充実	児童の定員及び学年を拡大するとともに、保護者の就労形態の多様化に応えるために、時間延長による充実を図ります。また、放課後児童クラブの児童が放課後子ども教室の活動プログラムに参加し、多様な体験・活動ができるよう、連携して事業を推進します。	定員数(人)	1,155	1,240	1,240	1,240	1,360	1,440	亀城小学校・住吉小学校の放課後児童クラブで5、6年生の受入実施しました。また、放課後子ども教室と連携を図り、多様な体験ができるよう活動プログラムへの参加を推進しました。	児童の定員及び学年を拡大するとともに、保護者の就労形態の多様化に応えるために、時間延長による充実を図りました。また、放課後児童クラブの児童が放課後子ども教室の活動プログラムに参加し、多様な体験・活動ができるよう、連携して事業を推進しました。	子育て推進課	40 63
	2	放課後児童クラブの整備	放課後児童クラブの設備の充実を図るとともに、支援員の資質の向上、地域の人材の活用を図ります。	放課後児童支援員認定資格研修受講者数(人)	17	11	16	23	18	15	各児童クラブのパソコンをの情報セキュリティの充実を図りました。また、広報や、ホームページ、新聞の折り込みチラシに支援員の募集を掲載し人材を確保するとともに、放課後児童支援員認定資格研修の計画的な受講を促し、支援員の資質の向上を図りました。	放課後児童クラブの設備の充実を図るとともに、支援員の資質の向上、地域の人材の活用を図りました。また、クラブ内外の施設の整備等を図りました。	子育て推進課	40
2-3 男女が協力して行う子育ての推進	1	市民だより、ホームページなどによる啓発	市民だより、刈谷市ホームページ、各種報道機関等を通して、男女共同参画の考え方、各種イベント、内閣府が実施する男女共同参画週間等の周知を行います。また、家庭、地域、職場等、様々な立場の人に向けた男女共同参画啓発用リーフレットを作成・配布し、さらなる意識の向上を図ります。	市民だより掲載回数(回)	2	2	2	2	2	5	市民だよりの6/15号に内閣府実施の男女共同参画週間(6/23~29)について、また10/1号に県実施の男女共同参画月間(10月)について、計年2回掲載し、市民の男女共同参画に対する意識の向上を図りました。また、各種講座やイベント開催時には市民だより、刈谷市ホームページ等にて周知を図り、より多くの市民が参加できるよう努めました。	市民だよりを通して、内閣府が実施する男女共同参画週間等の周知を行いました。また、各種講座やイベント開催時には市民だより、刈谷市ホームページ等にて周知を図り、より多くの市民が参加できるよう努めました。	市民協働課	40
	2	男女共同参画講座等の充実	女性向け、男性向け、夫婦向け等の男女共同参画講座や講演会等を実施します。性別による固定的な役割分担意識にとらわれず、男女がともに家事・育児等に関わることの重要性について、意識の向上を図ります。	講座等参加者数(人)	193	238	492	516	1,130	280	各種男女共同参画啓発事業(子育てカレッジ・レディースカレッジ・女性の一步を応援プロジェクト・パパスイッチ・ガールズカレッジ)を年間23講座、「あなたとわたしのハーモニー2019(日本女性会議2020あいち刈谷のプレ大会と位置づけて開催)」において7講座、男女共同参画講演会を1回、大学生向けキャリアデザインイベント、高校生向けキャリアデザインイベントをそれぞれ1回ずつ実施し、男女がともに家事・育児に関わることの重要性について、意識の向上を図りました。	女性向け、男性向け、夫婦向け等の男女共同参画講座や講演会等を実施しました。H29年度からは高校生や大学生に向けたキャリアデザインイベントの開催により、参加者数を増加させることができました。また昨年度は、日本女性会議2020あいち刈谷のプレ大会として位置づけて開催したあなたとわたしのハーモニーにより、例年以上の参加者を集めることができました。性別による固定的な役割分担意識にとらわれず、男女がともに家事・育児等に関わることの重要性について、意識の向上を図りました。	市民協働課	40
	3	社会学級、女性教室の開催	社会学級(小学校)、女性教室(幼稚園)を通じて、男女が協力して子育てを行う意義を考える機会を提供します。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	市内の全小学校において社会学級、全幼稚園において女性教室を実施しました。	社会学級では防災講習会やバザーの開催、親子での餅つき体験の開催などにより、家庭及び地域の教育力を高めることができました。また、女性教室では子育て相談や親子で楽しむ人形劇など、母親だけでなく父親に対しても、子育てに役立つ情報や親子のふれあいの場を提供することができました。	生涯学習課	41

## 基本目標2 仕事と子育ての両立支援

頁—「刈谷市子ども・子育て支援事業計画」の中での頁数

基本施策	施策	内容	指標項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R元目標	実績詳細(令和元年度)	R元年度までの総括	担当課	頁	
	4	一般事業主行動計画の実施の促進	次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定に関して、情報提供等を行います。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	一般事業主行動計画の策定について、ホームページによる情報提供を実施しました。	次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定に関して、情報提供等を行いました。	商工業振興課	41	
	5	事業所内保育施設助成制度の普及	事業所向けの助成制度や法人税の優遇措置の紹介を行い、勤務形態に応じた保育が可能となる事業所内保育施設の設置を働きかけます。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	事業所向けの助成制度や法人税の優遇措置の紹介を行い、勤務形態に応じた保育が可能となる事業所内保育施設の設置を働きかけました。	事業所向けの助成制度や法人税の優遇措置の紹介を行い、勤務形態に応じた保育が可能となる事業所内保育施設の設置を働きかけました。	商工業振興課	41	
	6	子育て家庭に配慮した職場づくりの啓発	育児休業制度の定着・促進、勤務時間の短縮等の啓発、再雇用制度の普及を図るため、事業所等に情報提供を行い、子育て家庭に配慮した職場づくりの啓発に取り組みます。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	商工業振興課窓口にてチラシを配布して情報提供を行い、子育て家庭に配慮した職場づくりの啓発に取り組みました。また、女性の活躍推進講演会及び女性の活躍推進セミナーを開催しました。 「働き、働き続けたい女性のためのおしゃべりキャリアカフェ」 日時:令和元年10月28日(月)10時～12時半 場所:刈谷市総合文化センター401研修室 参加者数:13人 「キャリアデザイン講座」 日時:令和元年11月6日(水)、11月29日(金)10時～12時 場所:刈谷市総合文化センター 参加人数:9人 「起業したい女性のためのなんでも相談DAY」 日時:令和2年2月5日(水)10時～13時 場所:刈谷市総合文化センター401研修室 参加人数:19人	育児休業制度の定着・促進、勤務時間の短縮等の啓発、再雇用制度の普及を図るため、事業所等に情報提供を行い、子育て家庭に配慮した職場づくりの啓発に取り組みました。	商工業振興課	41	
	7	ファミリー・フレンドリー企業の普及、促進	「ファミリー・フレンドリー企業」(男女ともに仕事と家庭の両立ができる様々な制度と職場環境を持つ企業)についてPRを行います。	市内登録企業数(社)	31	35	36	36	39	33	「ファミリー・フレンドリー企業」についてホームページ及びパンフレット等によりPRを行いました。	「ファミリー・フレンドリー企業」(男女ともに仕事と家庭の両立ができる様々な制度と職場環境を持つ企業)についてPRを行いました。	商工業振興課	41
	8	再就職希望者の能力開発の支援	育児で一度退職し、子どもが大きくなった時点で再就職を希望する保護者を対象に、再就職セミナー等の講座を開催します。	就職準備セミナー出席者数(人)	17	9	10	15	20	17	新型コロナウイルス感染症に伴い、セミナーの開催中止 参考)開催中止となったセミナー ・「女性のための就職準備セミナー」 日時:令和2年3月6日(金) 場所:刈谷市総合文化センター403・404研修室 定員:20人	育児で一度退職し、子どもが大きくなった時点で再就職を希望する保護者を対象に、再就職セミナー等の講座を開催しました。	商工業振興課	41

## 刈谷市子ども・子育て支援事業計画進捗管理シート

## 施策一覧

網 掛 け は 、 目 標 達 成 年 度

H29目標とR元目標  
それぞれで評価

太枠内は、量の見込みと確保の内容の対象施策

## 基本目標3 子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり

頁—「刈谷市子ども・子育て支援事業計画」の中での頁数

基本施策	施策	内容	指標項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R元目標	実績詳細(令和元年度)	R元年度までの総括	担当課	頁	
3-1 妊娠・出産への支援	1	パパママクラス等の充実	初妊婦を対象としたミニママ教室、フレッシュ・ママクラス、初妊婦とその夫(パートナー)を対象としたパパママクラスの充実を図り、出産に対する不安の軽減、母子の健康促進、妊娠・出産について、男女がともに子育てを行うことの重要性、子育ての楽しさ等を伝えます。	パパママクラス参加率(%)	84	88	89	84	80	94	・パパママクラス参加率:79.5%(参加者/定員) ・パパママクラス:11回(毎月1回土曜日で3月を除く。定員48人) 参加者210組(420人) ・ミニママ教室:45回 参加者302人(うち父親の参加90人) ・フレッシュママクラス:11回(1クール4回で3月を除く。) 参加者:延べ173人	事業の内容を充実させることで不安の軽減や子育ての重要性、楽しさ等を伝えることができました。	子育て支援課	42
	2	産後ホームヘルプサービスの実施	産後における母子の心身の健康を守るため、核家族世帯を対象として、一定期間産後ホームヘルパーの派遣を実施し、家事の支援を行います。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	産後ホームヘルパー利用実績 利用者数:36人 総利用日数:437日(平均12.1日) 総利用時間:809.5時間(平均22.5時間)	産後の母親の家事支援を行うことで、母親の身体的な負担軽減と、ヘルパーが母親の話し相手になることで、母親の精神的な支援を行うことができました。要支援ケースについては、ヘルパー事業所と連携を密に取り、必要な支援につなげることができました。	子育て支援課	42
	3	あかちゃん訪問の充実	助産師が生後4か月未満のあかちゃんがいる家庭を全戸訪問し、母子の健康状態を把握するとともに、保護者の多様な相談に応じます。	訪問率(%)	100	100	100	100	100	100	訪問利用率:89.4%(1,316人/1,472人) あかちゃん訪問対象者数1,472人(4か月健康診査対象者数) 訪問児数:1,316人	助産師が訪問して母子の健康状態を把握し、保護者の多様な相談に応じることができました。	子育て支援課	42 70
	4	妊産婦健康診査・妊産婦歯科健康診査の充実	安全な出産を支援するため、妊娠期、出産後に健康診査を実施し、その際に個別相談も行います。また、妊産婦歯科健康診査など母親の歯の健康づくりを支援します。	妊婦健康診査初回受診率(%)	99	100	100	99	99	100	健診利用率:99.3%(1,528人/1,538人) 妊婦健康診査初回受診者1,528人(受診対象者1,538人) 妊婦健康診査受診総回数:19,453回 産婦健康診査受診者:2,230人(1回目:1,106人、2回目:1,124人) 妊婦歯科健康診査受診者:766人 産婦歯科健康診査受診者724人	医療機関や関係機関と連携し、妊産婦に必要な支援が適切な時期にできました。令和元年度からは産婦健康診査を2回実施できるようにしたことで、産後の母親支援がより早期に行うことができるようになりました。	子育て支援課	42 69
	5	保健指導の実施	母子健康手帳交付時の保健指導等を行います。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	妊娠届出による母子健康手帳の交付数:1,538件 ミニママ教室の実施回数:45回 ミニママ教室の妊婦参加数:302人、父親の参加数:90人	母子健康手帳交付時に、妊婦保健指導を実施し、妊娠・出産に向け適切な支援を実施することができました。	子育て支援課	42

## 基本目標3 子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり

頁―「刈谷市子ども・子育て支援事業計画」の中での頁数

基本施策	施策	内容	指標項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R元目標	実績詳細(令和元年度)	R元年度までの総括	担当課	頁	
3-2 子どもの 成長・発 達への支 援	1	乳幼児健康診査・乳幼児歯科健康診査の充実	子どもたちの健やかな成長を支援するため、4か月児、1歳6か月児、3歳児に健康診査を実施し、その際に個別相談を行います。この乳幼児健康診査は県内の医療機関で受けることが可能です。また、1歳6か月から3歳にかけての歯科健康診査、フッ素塗布等を実施し、子どもの歯の健康づくりを支援します。	3歳児健康診査の受診率(%)	99	99	99	100	99	100	健康診査受診者(健診受診率) ・4か月児健康診査:1,471人(99.9%) ・1歳6か月児健康診査:1,485人(98.1%) 歯科健康診査:1,473人 ・3歳児健康診査:1,477人(99.1%) ・3歳児健康診査歯科健康診査:1,468人 ・2歳児歯科健康診査及びフッ素塗布:1,137人 ・2歳6か月児歯科健康診査及びフッ素塗布:1,043人	乳幼児健康診査と歯科健康診査を各月3回実施するとともに、発達相談や栄養相談、個別相談を実施することで、保護者の育児不安の軽減や、必要な支援につなげることができました。	子育て支援課	43
	2	養育支援訪問の実施	母子健康手帳の交付等母子保健事業において、養育支援が必要とされる家庭に保健師等が訪問し、養育に関する指導、助言等を行い、適切な養育の実施につなげます。	訪問率(%)	100	100	100	100	100	100	家庭訪問件数:850件	妊娠届出やあかちゃん訪問、乳幼児健康診査等のさまざまな機会において支援を必要とする母子を把握するとともに、育児不安等の保護者の要望に応じて訪問を実施しました。	子育て支援課	43 71
	3	予防接種の充実	予防接種手帳を交付し、各種予防接種が個別に受けやすいように、医療機関との協力体制を強化します。	定期予防接種延人数(人)	35,377	37,427	38,081	38,175	36,562	42,000	定期予防接種:ヒブ5,754人、小児用肺炎球菌5,903人、B型肝炎4,344人、4種混合5,913人、DPT0人、DT1期0人、不活化ポリオ8人、BCG1,487人、MR1期1,521人、MR2期1,343人、水痘2,960人、日本脳炎1期4,299人、日本脳炎1期特例158人、日本脳炎2期1,574人、DT2期1,273人、子宮頸がん予防25人	予防接種手帳を交付し、各種予防接種を医療機関において個別に実施しました。また、子どもに多い感染症のおたふくかぜ等については、任意予防接種の費用の一部助成を実施し、発症予防を図りました。	子育て支援課	43
	4	育児相談等の実施	保健師による育児相談、助産師による母乳相談、栄養士による栄養相談を行います。	育児相談利用者数(人)	1,020	877	720	629	521	800	育児相談利用者数:521人(11回) 母乳相談利用者数:102人(60回) 栄養相談利用者数:54人(24回)	保健師による育児相談、助産師による母乳相談、栄養士による栄養相談を定期的に行い、保護者の育児不安の軽減につなげることができました。育児相談開催日の来所者は減っているが、妊娠・子育て応援室が開設されたことにより、タイムリーな相談・支援ができています。	子育て支援課	43
	5	援助を必要とする子どもと家庭への支援	特定妊婦等の支援を必要とする家庭への訪問指導、相談を行います。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	妊婦支援 電話件数:325件 電話件数(延べ):418件 訪問家庭数:54件 訪問家庭数(延べ):63件	妊娠届出書を活用したスクリーニングを実施し、電話・家庭訪問を実施することで、援助を必要とする家庭への支援ができました。	子育て支援課	43
	6	病気や事故についての学習機会の充実	病気や事故に対する応急手当等の知識不足から生じる不安の軽減のため、保護者へ子どもの病気や事故に関する学習や相談の機会の充実を図ります。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	【子育て支援課】 乳幼児健康診査時や出前講座を通じて、事故予防や感染症予防のためのリーフレットを配付し、保護者への知識の普及に努めました。 【学校教育課】 小学校5・6年生の保健の授業で「けがの防止」「病気の予防」、中学校2・3年生の保健の授業で「傷害の防止」「健康な生活」について学習しました。学校保健委員会でも取り扱いました。	【子育て支援課】 乳幼児健康診査や出前講座などの機会を通じて、保護者に対して子どもの病気や事故に関する知識の普及に努めることができました。 【学校教育課】 小学校5・6年生の保健の授業で「けがの防止」「病気の予防」、中学校2・3年生の保健の授業で「傷害の防止」「健康な生活」について学習しました。学校保健委員会でも取り扱いました。	子育て支援課 学校教育課	43

中間見直しにて、上方修正

件数は減少傾向だが、妊娠子育て応援室の開設によりタイムリーな相談・支援ができています

## 基本目標3 子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり

頁—「刈谷市子ども・子育て支援事業計画」の中での頁数

基本施策	施策	内容	指標項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R元目標	実績詳細(令和元年度)	R元年度までの総括	担当課	頁
3-3 小児医療 体制の充 実	1	小児救急医療体制の充実	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	定期的に休日の救急診療に関する情報をホームページや市民だより等に掲載し、保護者等への周知を図りました。	休日の救急診療に関する情報を定期的に市民だより等に掲載し、保護者等への周知を図ることができました。	子育て支援課	43
	2	小児救急電話相談の紹介	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	母子健康手帳の交付時に周知しました。 交付数:1,538件	母子健康手帳の交付時に、母子健康手帳や子育てガイドブック等を用いて小児救急電話相談の周知を行いました。	子育て支援課	43

刈谷市子ども・子育て支援事業計画進捗管理シート  
 施策一覧

網 掛 け は 、 目 標 達 成 年 度

H29目標とR元目標  
 それぞれで評価

太枠内は、量の見込みと確保の内容の対象施策

基本目標4 支援が必要な子ども・家庭への支援

頁—「刈谷市子ども・子育て支援事業計画」の中での頁数

基本施策	施策	内容	指標項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R元目標	実績詳細(令和元年度)	R元年度までの総括	担当課	頁
4-1 障害のある子どもへの支援	1	療育ネットワークの充実	市の関連各課、しげはら園、幼稚園、保育園、子ども相談センター、保健所、医療機関等の関係機関が連携し、発達段階や障害の内容等に応じた療育を促進します。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	【福祉総務課】 わたし手帳を冊子からファイリングができるものに変更し、中身の内容についてもより使いやすくなるように改良した。また、子育て支援セミナーでは、児童期から思春期にかけての子どもの発達と関わり方の講演を開催し、講演と質疑応答を通して、保護者の悩みを共有することができた。 【子育て支援課】どんぐりルーム及びカンファレンスをAグループとBグループに分けて各月1回実施しました。 【子ども課】 健康推進課、しげはら園、幼稚園、保育園、子育て支援課、子ども相談センター、保健所、医療機関など関係機関が連携し、乳幼児の年齢発達段階や障害の内容などに応じた療育等の相談や促進に努めました。 【学校教育課】 特別支援連携協議会を開催し、情報交換や関係機関との連携を図った。また、教育支援委員会を開催し、年齢発達段階や障害の内容などに応じた指導を検討した。	【福祉総務課】 わたし手帳は事業所や保護者に普及できていない状況があったが、活用される場が増えるように配布の機会を拡大し、使いやすくなるよう改良した。子育て支援セミナーについては、年々セミナー後の反省を活かし、広報方法の拡大やキッズルームの設置など、セミナーをより良いものにするよう努めた。 【子育て支援課】1歳6か月児健康診査事後指導教室(どんぐりルーム)を、2グループ各月1回実施し、早期療育の必要な児をラッコちゃんルームにつなげ、母子への支援を行うことができました。 【子ども課】 健康推進課、しげはら園、幼稚園、保育園、子育て支援課、子ども相談センター、保健所、医療機関など関係機関が連携し、乳幼児の年齢発達段階や障害の内容などに応じた療育等の相談や促進に努めました。 【学校教育課】 特別支援連携協議会を開催し、情報交換や関係機関との連携を図った。また、教育支援委員会を開催し、年齢発達段階や障害の内容などに応じた指導を検討した。	福祉総務課 子育て支援課 子ども課 学校教育課	44
	2	早期療育の機会づくり	発達に心配のある子どもとその母親を対象に、1歳6か月児健康診査の事後指導や、母子関係の充実や心身の発達を助長・育成する療育相談室(ラッコちゃんルーム)等を実施し、支援が必要な子ども・家庭の早期発見・早期指導につなげます。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	どんぐりルーム及びカンファレンスをAグループとBグループに分けて各月1回実施しました。 ラッコちゃんルーム利用延べ組数4,257組 親子が集まる施設への巡回相談を年18回実施し、早期発見をし、必要な支援につなぎました。	発達に心配のある子どもとその母親を対象に、1歳6か月児健康診査の事後指導や、母子関係の充実や心身の発達を助長・育成する療育相談室(ラッコちゃんルーム)等を実施し、支援が必要な子ども・家庭の早期発見・早期指導につなげることができました。	子育て支援課	44
	3	しげはら園の充実	児童発達支援センターとしての位置づけのもと、実施体制の整備を行い、本市の中核的な療育施設としての機能の充実を図ります。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	児童発達支援センターにおける児童発達支援を実施しました。また、2回の保育所等訪問支援を実施しました。	児童発達支援センターとしての位置づけのもと早期療育からの切れ目のない支援につながるよう療育体制の整備を行い、本市の中核的な療育施設としての機能の充実を図りました。児童発達支援では、保護者のニーズを汲み取り、講演会やクラス懇談会等を行うことができました。保育所等訪問では、訪問支援員(言語聴覚士や作業療法士等)が保育園等に出向き、担任と共に支援方法を考え、お子さんの適切な支援につなぐことができました。	子育て支援課	44

## 基本目標4 支援が必要な子ども・家庭への支援

頁—「刈谷市子ども・子育て支援事業計画」の中での頁数

基本施策	施策	内容	指標項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R元目標	実績詳細(令和元年度)	R元年度までの総括	担当課	頁	
	4	ことばの教室等の実施	幼稚園等に通いながら、ことばの発達に関する各種療法を受けられる体制の充実を図ります。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	【子育て支援課】 ことばの相談室 利用延べ組数 252組 【子ども課】 ことばの発達を促す療法が受けられる体制づくりや各種機関との連携を図り、保護者の相談に応じて障害のある子どもへの支援に努めました。	【子育て支援課】 幼稚園、保育園等に通いながら言語療育相談ができることが各園に周知され親子への支援につながりました。また未就学園児へも周知し、早期発見・支援につなぐことができました。 【子ども課】 ことばの発達を促す療法が受けられる体制づくりや各種機関との連携を図り、保護者の相談に応じて障害のある子どもへの支援に努めました。	子育て支援課 子ども課	44	
	5	特別支援教育の充実	従来の特別支援教育の対象の障害だけではなく、発達障害を含め、障害のある児童・生徒に対して、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な教育を通じて、生活や学習上の困難の改善または個々の発達援助を行います。	支援員数(人)	51	51	51	69	71	70	学校教育活動支援指導補助員、肢体不自由児童生徒助成支援員、特別支援学級児童生徒支援員を配置して、児童生徒の障害の状態に応じた適切な教育支援に努めました。	学校教育活動支援指導補助員、肢体不自由児童生徒助成支援員、特別支援学級児童生徒支援員を配置して、児童生徒の障害の状態に応じた適切な教育支援に努めた。	学校教育課	44
	6	統合保育の充実	幼稚園・保育園において、障害のある子どもとない子どもが一緒に生活する中で、相互理解を通して人と関わる力を育みます。また、教諭・保育士は、講習会の受講や専門家の助言等により、理解を深め、円滑な統合保育の実施につなげます。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	幼稚園教諭や保育士が障害に関する講習会の受講や保育カウンセラーの指導助言により、障害のある子どもの理解と的確な支援を学び、互いに育ちあう集団作りに努めました。	幼稚園教諭や保育士の障害に関する講習会の受講や保育カウンセラーの指導助言により、障害のある子どもの理解と的確な支援を学び、互いに育ちあう集団作りに努め、障害のある子どもへの支援に努めました。	子ども課	45
	7	障害児を持つ家庭への支援	関係制度の普及・定着に努めるとともに、緊急時や保護者の休養等のための一時預かりを行います。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	・障害福祉サービスとして、短期間施設へ入所できる事業を実施しました。短期入所 47人 ・地域生活支援事業として、日中における活動の場を提供する事業を実施しました。日中一時支援事業 61人 ・夏休み等の長期休暇において、一時的に受け入れをする事業を実施しました。レスパイト事業 18人	短期入所や日中一時支援事業は、ニーズに対して市内の事業所が不足しているという意見があるため、緊急時や保護者の休養等のための一時預かりができる体制の整備等を検討している。	福祉総務課	45
	8	児童発達支援の充実	障害のある子どもを対象に基本的な動作の指導や集団生活への適応訓練等を行う児童発達支援の充実を図ります。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	児童発達支援センターしげはら園において児童発達支援を実施しました。 延べ利用者数:1,315人	障害のある子どもの発達の状態及び発達の過程・特性等を理解し、ひとりひとりの障害の特性及び発達の状況に合わせて基本的な動作の指導や集団生活への適応訓練等を行い児童発達支援の充実を図りました。	子育て支援課	45
	9	保育所等訪問支援の実施	保育園等を利用している障害のある子どもに対し、障害児施設等で指導経験のある児童指導員、保育士による訪問指導を行います。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	児童発達支援センターしげはら園において2回の保育所等訪問支援を実施しました。 延べ利用者数:196人(民間事業所分含む)	保育園等を利用している保護者からの相談依頼に対し、障害児施設等で指導経験のある訪問指導員(児童指導員・言語聴覚士・作業療法士等)が園へ出向き、担任と共に支援方法を考え、適切な支援につなげました。	子育て支援課	45
	10	放課後等デイサービスの充実	小中学生及び高校生等の障害のある子どもに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中の居場所づくりや訓練の場を提供する放課後等デイサービスの充実を図ります。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	利用者数:のべ34,399人	年々利用者数が増加し、4年間で倍以上になった。 より多くの子どもに療育の場を提供できている。	福祉総務課	45

## 基本目標4 支援が必要な子ども・家庭への支援

頁―「刈谷市子ども・子育て支援事業計画」の中での頁数

基本施策	施策	内容	指標項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R元目標	実績詳細(令和元年度)	R元年度までの総括	担当課	頁	
4-2 児童虐待 防止対策 の充実	1	要保護者対策地域協議会の充実	要保護児童、要支援児童、特定妊婦の早期発見や適切な保護を図るため、関係機関・団体で組織する要保護者対策地域協議会を開催します。	ケース検討会議開催回数(回)	20	12	9	11	17	24	実務者会議:12回	要保護者対策地域協議会にて、代表者会議、実務者会議、ケース検討会議を開催し、要保護児童等に対する適切な支援を行っています。	子育て推進課	45
	2	児童虐待防止の啓発	児童虐待の現状、虐待のサイン、通告義務、相談体制、防止施策等の知識の普及を図るため、講演会・研修会の開催や市民だよりによる啓発に取り組めます。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	【子育て推進課】 要保護者対策地域協議会による研修会を2回開催しました。また、市民だより等で児童虐待防止についての啓発を行いました。 【子ども課】 虐待の現状、虐待のサイン、通告義務、相談体制、防止施策等の知識の普及を図るため、講演会・研修会への参加や児童虐待防止啓発のポスター掲示などに取り組みました。また必要に応じて、支援の必要な家庭に寄り添い、関係機関と連携して情報共有して虐待防止に努めました。 【学校教育課】 虐待の疑いのある児童生徒を確認した場合は速やかに報告するよう共通理解を図りました。	子育て推進課 子ども課 学校教育課	45	
	3	家庭児童相談室の充実	児童の福祉に関する相談等、子どもに関するあらゆる問題に対応した相談体制の充実を図ります。また民生委員・児童委員、主任児童委員と連携し、子育てに関する悩みの相談、関係機関への紹介、家庭への訪問等を行うなど、児童虐待の早期発見や適切な保護を図ります。	相談件数(件)	143	157	182	191	218	180	主任児童委員・家庭児童相談員連絡会を5回開催しました。	研修参加で専門知識を習得しながら、関係機関と連携し、適切な支援を実施しました。	子育て推進課	45
	4	虐待ホットラインの充実	児童虐待の防止と早期発見を目的に、家庭児童相談員、保健師等が直通電話で通告・相談を受ける「こども虐待ホットライン」の充実を図ります。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	相談件数:0件	「こども虐待ホットライン」への適切な対応と周知を実施しました。	子育て推進課	45
4-3 ひとり親 家庭への 支援	1	相談体制の充実	母子等自立支援員を配置し、自立に向けた相談や情報提供等を行い、ひとり親家庭の生活の安定と自立を支援します。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	相談件数:643件 相談者に対し、自立に向けた適切な支援を実施しました。	母子等自立支援員を配置し、自立に向けた相談や情報提供等を行い、ひとり親家庭の生活の安定と自立を支援しました。	子育て推進課	46
	2	自立支援教育訓練給付金の支給	就職に必要な技能や資格を取得するために指定の教育訓練講座を受講した母子家庭の母及び父子家庭の父に、受講料の一部を支給します。	受給者数(人)	0	0	1	0	8	3	受給者数:8人	就職に必要な資格を得られるよう教育訓練給付金を周知し、支給につなげました。	子育て推進課	46

## 基本目標4 支援が必要な子ども・家庭への支援

頁―「刈谷市子ども・子育て支援事業計画」の中での頁数

基本施策	施策	内容	指標項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R元目標	実績詳細(令和元年度)	R元年度までの総括	担当課	頁	
	3	高等職業訓練促進給付金の支給	母子家庭の母及び父子家庭の父が、経済的な自立に効果の高い看護師等の資格を取得するため、2年以上の修学をする際に、就業と修学が困難な場合、生活費の負担軽減のために給付金を支給します。(法改正により、平成28年4月1日から1年以上の修学に変更)	受給者数(人)	3	1	0	2	3	6	受給者数:3件	資格取得を求めるひとり親家庭の母等が積極的に制度を利用できるよう周知し、支給につなげました。	子育て推進課	46
	4	母子父子寡婦福祉資金の貸付	母子家庭の母及び父子家庭の父並びに寡婦の経済的自立援助のための資金、児童の就学に必要な資金を貸し付けます。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	利用実績:0件	相談者が経済的に自立援助できるよう貸付内容について周知しました。	子育て推進課	46
	5	児童扶養手当・遺児手当の支給、医療費の助成	児童扶養手当・遺児手当の支給、医療費の一部助成など国、県、市の制度に基づき、経済的な支援を行います。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	【国保年金課】 母子家庭等に係る保険診療の自己負担分の医療費を助成しました。 平均受給者数1,737人 年間支給総額67,202,117円 【子育て推進課】 児童扶養手当受給者数:623人、刈谷市遺児手当受給者数:1,267人	子どもを養育するひとり親家庭の医療費・手当を助成することで、ひとり親家庭の経済的支援を図ることができました。	国保年金課 子育て推進課	46
	6	家庭生活支援員の派遣	生活環境の変化により、一時的に日常生活に支障を生じている母子・父子・寡婦家庭に、自立促進のため家庭生活支援員を派遣し、日常生活を支援します。	家庭生活支援員派遣家庭件数(件)	1	3	3	3	2	4	家庭生活支援員派遣家庭件数:2件	母子家庭等の世帯が日常生活支援をより利用しやすくなるよう、サービスを周知し、支援につなげました。	子育て推進課	46
	7	市営住宅の家賃の減免、幼稚園・保育園の保育料の減免、就学援助	一定の基準を満たすひとり親世帯に対し、市営住宅の家賃の減免、公立幼稚園・認可保育園の保育料の減免を実施します。また、公立小中学校へ就学するための学用品費や学校給食費等を援助します。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	【子ども課】 公立幼稚園保育料について、市民税所得割額77,101円未満の世帯に対し、保育料減免を実施しました。保育園保育料について、市民税所得割額77,101円未満の世帯に対し、保育料減免を実施しました。 また、令和元年10月からは国の制度に基づき、3歳～5歳児及び市民税非課税世帯の0～2歳児に対して、保育料の無償化を実施しました。 【建築課】 ひとり親世帯に対する減免件数:38件 【学校教育課】 生活保護受給者の要保護の児童生徒に対しては修学旅行費、生活保護に準ずる水準にある準要保護の児童生徒に対しては、学用品費、学校給食費、修学旅行費等の援助を行いました。 要保護・準要保護児童生徒数(令和元年5月1日現在) 要保護児童:16人、要保護生徒:19人 準要保護児童:438人、準要保護生徒:301人	【子ども課】 ひとり親世帯に対し、公立幼稚園・認可保育園の保育料減免により、支援の一助となった。 【建築課】 一定の基準を満たすひとり親世帯に対し、市営住宅の家賃減免を行うことができた。 【学校教育課】 生活保護受給者の要保護の児童生徒に対しては修学旅行費、生活保護に準ずる水準にある準要保護の児童生徒に対しては、学用品費、学校給食費、修学旅行費等の援助を行いました。	子ども課 建築課 学校教育課	46
	8	家具転倒防止金具の取付	中学生以下の子どもと母親から構成される世帯向けに、家具転倒防止金具の取付を行います。	実施件数(件)	0	0	0	0	0	2	実施件数:0件	継続して支援の周知を行いました。	子育て推進課	46

## 基本目標4 支援が必要な子ども・家庭への支援

頁一「刈谷市子ども・子育て支援事業計画」の中での頁数

基本施策	施策	内容	指標項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R元目標	実績詳細(令和元年度)	R元年度までの総括	担当課	頁	
4-4 経済的負担の軽減	1	児童手当の支給	子育ての経済的負担を軽減し、安心して子どもを育てることができる社会の実現をめざし、国の制度に基づき手当を支給します。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	児童手当受給者数(6月期払い) 12,587人	子育ての経済的負担を軽減し、安心して子どもを育てることができる社会の実現をめざし、国の制度に基づき手当を支給しました。	子育て推進課	47	
	2	多子世帯の保育料の軽減及び第3子以降の保育料の無料化	公立幼稚園・認可保育園の保育料を、18歳未満の児童で数えて第3子以降である場合に無料とします。また、対象となる第2子に対して保育料の軽減をします。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	公立幼稚園・認可保育園の保育料を、18歳未満の児童で数えて第3子以降である場合に無料としました。また、対象となる第2子に対して保育料の軽減をしました。	多子世帯に対し、公立幼稚園・認可保育園の保育料軽減及び無料化を行ったことで、経済的負担を軽減できた。	子ども課	47	
	3	私立幼稚園の利用者への費用助成	新制度に移行していない私立幼稚園を利用している保護者に対し、就園奨励費の支給、もしくは保育料の補助を行います。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	私立幼稚園に通う園児を持つ世帯の課税状況や兄弟姉妹に応じ、就園奨励費補助または保育料補助を実施し、保護者の経済的負担軽減を図りました。なお、令和元年10月からは国の制度に基づき、満3歳～5歳児に対して、施設利用料等の無償化を実施しました。	私立幼稚園に通う園児を持つ世帯の経済的負担を軽減できた。	子ども課	47	
	4	認可外保育施設利用者の負担の軽減	認可保育園の入園基準を満たす0～2歳児で、認可保育を希望しながら認可外保育所を利用している場合、所得に応じて保育料を補助します。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	認可外保育所を利用し、対象児童が18歳未満の児童で数えて3番目以降である場合には、最大36,000円を補助しました。またその他に、世帯の所得や対象園児の兄弟、姉妹の年齢等に応じて補助しました。なお、令和元年10月からは国の制度に基づき、3歳～5歳児及び市民税非課税世帯の0～2歳児に対して、施設利用料の無償化を実施しました。	認可外保育施設利用者の経済的負担を軽減できた。	子ども課	47	
	5	子ども医療費の助成	子どもが早期に十分な治療を受けられるよう、入院及び通院にかかる医療費の助成を行い、子どもの健康保持と保護者の経済的負担の軽減を図ります。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	中学校卒業までの子どもに係る保険診療の自己負担分の医療費を助成しました。平均受給者数21,670人 年間支給総額776,733,283円	中学生までの子どもを養育する家庭の医療費を助成することで、子育て家庭への経済的支援を図ることができました。	国保年金課	47	
	6	妊産婦・乳児健康診査及び妊産婦歯科健康診査費用の助成	妊娠から出産までに係る費用の負担軽減を図り、安心して子どもを出産し育てることができる環境を整備します。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	妊産婦健康診査総受診者：19,453人 妊産婦健康診査初回受診者：1,528人 産婦健康診査受診者：2,230人 妊産婦歯科健康診査受診者：766人 産婦歯科健康診査受診者：724人	妊産婦健康診査については、妊娠中に子宮頸がん検診1回と妊産婦健康診査を14回、産婦健康診査を2回、歯科健康診査については、妊娠中に1回、産後に1回分の受診券を配付し、費用助成を行うことで、安心して出産し子育てできる環境を整えることができました。	子育て支援課	47
	7	ファミリー・サポート・センター利用者への補助	児童扶養手当受給世帯等が受ける援助活動に対し、利用料の一部を補助し、経済的な負担の軽減を図ります。	利用者数(人)	12	8	12	11	13	25	低所得世帯、ひとり親家庭の利用料を一部助成し経済的負担を軽減することで、ファミリーサポートセンター援助活動の利用促進に結びつけることができました。	申し込みのあった低所得世帯、ひとり親家庭の利用料を一部助成し経済的負担を軽減することで、ファミリーサポート・センター援助活動の利用促進に結びつけることができました。	子育て支援課	47
	8	不妊治療費の助成	不妊に悩む夫婦に対し、不妊治療費用の一部を助成し、経済的な負担の軽減を図ります。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	申請件数：276件	不妊治療費用の一部助成を図ることで、経済的な負担の軽減を軽減することができました。	子育て支援課	47
	9	私立高等学校等授業料の補助	私立高等学校等に通う生徒の保護者に対して、授業料の補助を行い、公・私立間における保護者の経済的負担の格差是正を図ります。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	対象者1人につき年額18,000円以内の補助を行いました。支給実績人数：939人	対象者1人につき年額18,000円以内の補助を行い、公・私立間における保護者の経済的負担の格差是正を図りました。	学校教育課	47

## 刈谷市子ども・子育て支援事業計画進捗管理シート 施策一覧

網 掛 け は 、 目 標 達 成 年 度

H29目標とR元目標  
それぞれで評価

### 基本目標5 子どもがのびのびと育つ教育環境づくり

頁—「刈谷市子ども・子育て支援事業計画」の中での頁数

基本施策	施策	内容	指標項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R元目標	実績詳細(R元年度)	R元年度までの総括	担当課	頁	
5-1 生きる力を育てる 学校教育の推進	1	体験活動等の推進	豊かな人間性を育むため、ボランティア活動、自然体験、福祉体験等の様々な体験活動の充実に取り組みます。	実施校 (校)	21	21	21	21	21	21	ボランティア活動、福祉体験活動等を全小中学校で実施しました。	豊かな人間性を育むため、ボランティア活動、自然体験、福祉体験等の様々な体験活動の充実に取り組みました。	学校教育課	49
	2	職場体験学習の実施	中学生を対象に、生徒の希望に沿って職場体験学習を行います。	実施校 (校)	6	6	6	6	6	6	全中学校において幅広い職業選択ができるよう職場体験学習を計画し、3日間の体験期間を設けて実施しました。	全中学校において幅広い職業選択ができるよう職場体験学習を計画し、3日間の体験期間を設けて実施しました。	学校教育課	49
	3	心の教育の充実	読書活動、人権教育、動植物の飼育・栽培等を通して、心の教育の充実を図ります。	読書週間の設定校 (校)	21	21	21	21	21	21	心の教育推進活動を年間2回設定し、地域ぐるみの教育活動の推進を図りました。各小中学校で豊かな体験や家庭・地域との連携に基づく活動を創造し、展開していきました。	心の教育推進活動を年間2回設定し、各校で取組を行った。	学校教育課	49
	4	異年齢児との交流機会の充実	授業、行事、体験活動等の中で、児童・生徒と園児との交流機会の充実を図ります。	幼稚園との交流校 (校)	21	21	21	21	21	21	小学校では、生活科や総合的な学習の時間の授業として幼稚園児を学校に招いて交流しました。中学校では、家庭科の授業として幼稚園を訪問し、交流しました。	授業、行事、体験活動等の中で、児童・生徒と園児との交流機会の充実を図りました。	学校教育課	49
	5	思春期保健対策の充実	保健の授業等を通して、体のしくみや性感染症の理解を深めます。自分の身体を大切にすること、異性を尊重すること、喫煙や薬物等の心身への悪影響等について学ぶ機会を設けます。	実施校 (校)	21	21	21	21	21	21	保健の学習では、小学校4年生「育ちゆく体とわたし」、中学1年生で「心身の機能の発達と心の健康」において、思春期における心身面の変化や正しい理解、適切な行動の仕方について学習しました。また、学校行事の事前指導等においても、適切に思春期における保健指導を随時取り扱いました。	保健の学習では、小学校4年生「育ちゆく体とわたし」、中学1年生で「心身の機能の発達と心の健康」において、思春期における心身面の変化や正しい理解、適切な行動の仕方について学習しました。また、学校行事の事前指導等においても、適切に思春期における保健指導を随時取り扱いました。	学校教育課	49
	6	保育実習の実施	中学校3年生全生徒を対象に、子育ての意義や家庭を持つことの重要性を学ぶ保育実習を実施します。	実施校 (校)	6	6	6	6	6	6	中学校3年生が幼稚園・保育園で保育実習を行い、育児体験を行いました。	中学校3年生が幼稚園・保育園で保育実習を行い、育児体験を行いました。	学校教育課	49
5-2 子どもに寄り添った支援の充実	1	スクールカウンセラー等相談体制の充実	スクールカウンセラー、心の教室相談員、心の居場所づくりアドバイザーを小中学校に配置し、児童・生徒からの相談のほか、保護者や教職員の相談に応じます。	相談件数 (件)	5,060	4,719	4,760	4,760	4,196	3,600	・スクールカウンセラーを中学校は各校に配置し、小学校は市内小学校を4つのグループに分けて巡回方式で配置しました。(県事業) ・雁が音中学校に心の居場所づくりアドバイザーを年間336時間分配置しました。 ・中学校6校にそれぞれ年間680時間ずつ心の教室相談員を配置しました。(雁が音中学校のみ年間400時間)	・スクールカウンセラーを中学校は各校に配置し、小学校は市内小学校を4つのグループに分けて巡回方式で配置しました。(県事業) ・雁が音中学校に心の居場所づくりアドバイザーを配置しました。 ・中学校6校にそれぞれ心の教室相談員を配置しました。	学校教育課	49

## 基本目標5 子どものびのびと育つ教育環境づくり

頁―「刈谷市子ども・子育て支援事業計画」の中での頁数

基本施策	施策	内容	指標項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R元目標	実績詳細(R元年度)	R元年度までの総括	担当課	頁	
	2	いじめ対策の推進	各学校における特別支援教育、いじめ・不登校対策委員会の開催や、児童・生徒に対するアンケート調査の実施により、学校全体でいじめ対策に取り組み、いじめの早期発見・解決につなげます。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	・各学校で毎月全校での「特別支援教育、いじめ・不登校対策委員会」を実施しました。 ・各校で「いじめ対策カウンセリング研修会」を実施しました。 ・各校で「いじめ対策カウンセリング研修会」を実施しました。 ・いじめを含む学校生活に関するアンケートを年間3回以上実施しました。 ・いじめを含む学校生活に関するアンケートを年間3回以上実施しました。	・各学校で毎月全校での「特別支援教育、いじめ・不登校対策委員会」を実施しました。 ・各校で「いじめ対策カウンセリング研修会」を実施しました。 ・いじめを含む学校生活に関するアンケートを年間3回以上実施しました。 ・「刈谷市いじめ問題対策連絡協議会」「刈谷市いじめ問題対策委員会」を設置し、いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処に関する機関及び団体の連携を図りました。	学校教育課	49	
	3	不登校児童・生徒への対応	「刈谷市いじめ・不登校児童生徒適応指導調査協力者会議」による情報交換や、各学校における特別支援教育、いじめ・不登校対策委員会の開催、北・中・南部すこやか教室における相談、家庭訪問等により、不登校児童・生徒の学校復帰を支援します。	研修会実施校(校)	21	21	21	21	22	21	・各校で「いじめ対策カウンセリング研修会」を実施しました。 ・いじめ不登校適応指導調査協力者会議主催の教育講演会を実施しました。 ・すこやか教室や子ども相談センターを紹介するリーフレットを作成しました。 ・すこやか教室指導員による各学校への学校訪問を月1回程度実施しました。	・各校で「いじめ対策カウンセリング研修会」を実施しました。 ・いじめ不登校適応指導調査協力者会議主催の教育講演会を実施しました。 ・すこやか教室や子ども相談センターを紹介するリーフレットを作成しました。 ・すこやか教室指導員による各学校への学校訪問を月1回程度実施しました。	学校教育課	50
5-3 開かれた学校づくりの推進	1	学校評議員制度の運営支援	学校評議員制度の運営を行い、保護者や地域住民等の意向を把握し、開かれた学校運営を推進します。	学校評議員設置校(校)	21	21	21	21	21	21	全小中学校で、学校評議員会を開催し、学校運営について意見を伺いました。	学校評議員制度の運営を行い、保護者や地域住民等の意向を把握し、開かれた学校運営を推進しました。	学校教育課	50
	2	地域住民による教科指導の支援	小学校において、ボランティアが家庭科のミシンの使い方を指導したり、生活科の学区探検で安全を見守ったりするなど、教科指導の支援を行います。	ボランティア参加校(校)	15	15	15	15	15	15	全小学校でボランティアとして、読み聞かせに参加していただきました。	小学校において、ボランティアが家庭科のミシンの使い方を指導したり、生活科の学区探検で安全を見守ったりするなど、教科指導の支援を行いました。	学校教育課	50
	3	地域講師の活用	小中学校の総合的な学習の時間等に、地域住民を講師に招き、特徴のある授業を行います。	地域講師活用校(校)	21	21	21	21	21	21	総合的な学習の時間に一芸に秀でた地域の方を講師に招き授業の支援をしていただきました。	小中学校の総合的な学習の時間等に、地域住民を講師に招き、特徴のある授業を行いました。	学校教育課	50
	4	学校のホームページの運営	各学校のホームページを適宜更新し、学校から地域に向けて、情報を発信します。	ホームページ開設校(校)	21	21	21	21	22	21	各学校の児童生徒の活躍を記事にしたり、学校の行事予定を掲載したりするなど、ホームページ担当者を中心に積極的な更新に取り組みました。	各学校の児童生徒の活躍を記事にしたり、学校の行事予定を掲載したりするなど、ホームページ担当者を中心に積極的な更新に取り組みました。	学校教育課	50
	5	生活指導懇談会の開催	北部・中部・南部の3か所で、生活指導懇談会を開催し、児童・生徒の見守り等について意見交換を行うことにより、地域の見守り活動の促進につなげます。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	中学校区生活指導懇談会を開催し、青少年対策関係者により学区内の園児・児童生徒の状況や地域の課題等について情報共有を図り、協議を行いました。 刈谷南中学校区 11月26日 57人参加、刈谷東中学校区 11月27日 58人参加、富士松中学校区 11月26日 81人参加、雁が音中学校区 10月17日 50人参加、依佐美中学校区 11月26日 54人参加、朝日中学校区 11月27日 47人参加 計347人参加	生活指導懇談会について、平成30年度までは北部・中部・南部地区の3箇所で行っていたが、令和元年度は各中学校区ごとの6か所で行ったことにより、参加人数が倍増し、アットホームな形で情報交換ができた。	生涯学習課	50

## 基本目標5 子どものびのびと育つ教育環境づくり

頁―「刈谷市子ども・子育て支援事業計画」の中での頁数

基本施策	施策	内容	指標項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R元目標	実績詳細(R元年度)	R元年度までの総括	担当課	頁	
	6	家庭教育地域推進事業の充実	学校、家庭、地域が連携して、子どもを生き育てる社会環境づくりを推進するため、家庭教育地域推進事業を実施します。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	PTAによる親子のふれあい活動、親子講演会など家庭教育地域推進事業を実施しました。	学校、家庭、地域が連携して、子どもを生き育てる社会環境づくりを推進するため、家庭教育地域推進事業を実施しました。	生涯学習課	50	
5-4 地域で多様な経験や価値観を学ぶ場づくり	1	科学体験による学びの場の提供	「夢と学びの科学体験館」において、科学遊びや科学体験を楽しんだり、刈谷のものづくりについて学んだりすることにより、未来を担う子どもたちの夢と学びの心を育みます。	入館者数(人)	164,724	191,908	215,172	227,504	216,321	210,000	子どもに科学の楽しさを体験してもらうため、普段学校ではできないような科学実験やサイエンスショーを開催しました。 また、外部団体との連携を図り、魅力ある講演会や講座などを開催しました。 【ラボ実験講座】土・日・祝・学校等の長期休み期間 1日4～8講座程度、【サイエンスショー】土・日・祝・学校等の長期休み期間 1日3回、【簡単工作】毎日3～4種類、【外部団体連携講座】4講座	科学実験やサイエンスショーだけでなく、外部団体と連携したイベント等を開催したことで、科学の楽しさや知的好奇心を養う機会を創出しました。 また、手軽にできる体験を取り入れ、受付方法に工夫を凝らしたことで、多くの子どもが体験・学ぶことができるように努めました。	子育て推進課	51
	2	子ども向けの体験の推進	市民センター、生涯学習センター、美術館等の公共施設において、子どもたちが自然や文化、芸術等を体験できる様々な機会を提供します。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	【文化観光課】 歴史博物館：常設体験コーナーの設置や展覧会等の催しにより、郷土の歴史文化に触れる機会を子どもたちに提供することができました。 美術館：毎年計画通り、もしくはそれ以上実施することができました。今後も子供たちが楽しく芸術体験ができるよう、様々な内容で企画していきます。 郷土資料館：土日祝日に工作体験等イベントを行うことで、子どもたちに自然や文化、芸術等を体験できる機会を提供することができました。 【生涯学習課】 生涯学習センターにおいて、子どもたちが自然や文化、芸術等を体験できる様々な機会を提供しました。 総合文化センター ホール事業関連ワークショップ 7回	【文化観光課】 歴史博物館：常設体験コーナーの設置や展覧会等の催しにより、郷土の歴史文化に触れる機会を子どもたちに提供することができました。 美術館：毎年計画通り、もしくはそれ以上実施することができました。今後も子供たちが楽しく芸術体験ができるよう、様々な内容で企画していきます。 郷土資料館：土日祝日に工作体験等イベントを行うことで、子どもたちに自然や文化、芸術等を体験できる機会を提供することができました。 【生涯学習課】 生涯学習センター及び総合文化センターにおいて各種講座やワークショップを開催することにより、子どもたちが自然や文化、芸術等を体験できる様々な機会を提供することができた。	文化観光課 生涯学習課	51	
	3	親子向けの学習・体験の推進	親子向けの工作教室、料理教室、環境講座等、親子で参加できる様々な学習や体験の場を提供します。	参加者数(人)	117	99	65	77	63	150	「親子で作ろう！エコクッキング講座」7月27日(土)実施 参加者数：38人(16家族) 「クリーンセンター施設見学会」7月30日(火)実施 参加者数：15人(7家族) 「くるくる棒を使ったペン立てづくり講座」8月21日(水)実施 参加者数：10人(4家族)	環境基本計画では、令和6年度の目標値として、環境関連講座への年間参加者数を1,500人としている。親子向け講座の参加者数は5年間の平均で約85人と、目標値の約6%で満足するものではないが、当局では今後若い世代の環境教育が重要であると考えており、特にこうした幼少期に親子で共に学べる講座の充実を図り、市民の環境意識の向上に努めていきたい。	環境推進課	51

## 基本目標5 子どもがのびのびと育つ教育環境づくり

頁—「刈谷市子ども・子育て支援事業計画」の中での頁数

基本施策	施策	内容	指標項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R元目標	実績詳細(R元年度)	R元年度までの総括	担当課	頁
	4 子ども会活動の支援	活動の場の提供、活動の参考となる情報提供等を通じ、子ども会の活動を支援します。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	刈谷市子ども会育成連絡協議会の下で活動している76の単位子ども会に補助金の交付を行いました。また、刈谷市子ども会育成連絡協議会の事務局として活動の補助を行い、子ども会活動の支援をしました。	刈谷市子ども会育成連絡協議会の下で活動している単位子ども会に補助金の交付を行いました。また、刈谷市子ども会育成連絡協議会の事務局を担当し、活動の補助を行ったり、関係機関との調整・連携を図り、子ども会活動の支援を行いました。	子育て推進課	51
	5 ジュニアリーダーの育成支援	中学生・高校生のジュニアリーダーの育成を支援し、子ども会等地域の活動に派遣します。	派遣件数(件)	18	10	14	14	14	17	ジュニアリーダーの派遣を行い、各地域でのボランティア活動をサポートしました。また、5月に春合宿、7月に年少リーダー講習会、9月に他市交流会と研修活動を重ね、新たな知識の習得やスキルアップにつなげました。	中学生・高校生のジュニアリーダーの育成を支援し、子ども会等地域の活動に派遣しました。	子育て推進課	51
	6 世代間のふれあいの場の提供	交通児童遊園において、大人から子どもまで楽しめる大型遊具等の設備の充実を図ることにより、世代間のふれあいの場を提供します。	来園者数(人)	1,449,297	1,378,308	1,350,855	1,266,910	1,185,406	1,450,000	来園者の安全対策のため大型遊具等の整備点検等を適切に行うとともに、安全性向上のための設備改修工事を行いました。	大型遊具等を適切に管理し、園内設備の充実化を図ったことで、子どもから大人まで楽しみながら快適に過ごせる場を提供しました。	子育て推進課	51

刈谷市子ども・子育て支援事業計画進捗管理シート  
 施策一覧

網 掛 け は 、 目 標 達 成 年 度

H29目標とR元目標  
 それぞれで評価

基本目標6 子どもにやさしいまちづくり

頁—「刈谷市子ども・子育て支援事業計画」の中での頁数

基本施策	施策	内容	指標項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R元目標	実績詳細(令和元年度)	R元年度までの総括	担当課	頁	
6-1 子育てを支援する都市環境の整備	1	公共空間・設備におけるユニバーサルデザインの導入	公共空間や設備において、ユニバーサルデザインの導入を図ります。特に、公共施設には、授乳スペース、おむつ交換スペース、多機能トイレ、託児ルーム等の整備を図ります。	継続実施	継続	実施	実施	実施	継続	【文化観光課】 歴史博物館：授乳室、多機能トイレ（おむつ交換スペース）の維持管理を行いました。 美術館：有料企画展開催時に授乳スペースを設置しました。2回（土方重巳の世界展、せなけいこ展） 郷土資料館：多機能トイレ（おむつ交換スペース）の維持管理を行いました。 【子ども課】 双葉保育園大規模改造工事実施設計委託において、ユニバーサルデザインに基づいた設計を行いました。また、井ヶ谷幼稚園大規模改造工事において、ユニバーサルデザインに基づいた工事を行いました。 【生涯学習課】 総合文化センター ホール事業開催時における託児サービスの実施7回 各施設において、多機能トイレ（おむつ交換スペース）、授乳スペース（各施設によって要相談）等の維持管理を行うとともに、周知や館内掲示、ホームページでのおしらせなど、利用者にとって使いやすい環境作りを行いました。	【文化観光課】 歴史博物館：授乳室、多機能トイレ（おむつ交換スペース）を兼ね備えた施設として整備し、開館後はその維持管理を行いました。 美術館：展示会の内容から来館される客層を予想し、レイアウトを考慮して必要に応じて授乳スペース設置しました。子ども連れの来館者が多い企画展時には、多くの方に利用していただけた。 郷土資料館：多機能トイレ（おむつ交換スペース）の維持管理を行いました。 【子ども課】 段差解消や多目的トイレの整備など、ユニバーサルデザインを考慮した工事を行った。 【生涯学習課】 各施設において、多機能トイレ（おむつ交換スペース）、授乳スペース（各施設によって要相談）等の維持管理を行うとともに、周知や館内掲示、ホームページでのおしらせなど、利用者にとって使いやすい環境作りを行うことができました。	文化観光課 子ども課 生涯学習課	52	
	2	刈谷市交通バリアフリー基本構想の推進	刈谷市交通バリアフリー基本構想に基づき、刈谷駅周辺の重点整備地区における特定道路、特定経路の整備を進めます。	整備率（%） （=整備延長（m）÷計画延長（m））	81	81	81	79	96	85	刈谷駅周辺の重点整備地区における特定道路のうち（都）刈谷環状線北側歩道（211m）、市道01-25号線東側歩道（43m）及び（都）刈谷駅前線両側歩道（240m）の整備を行いました。	刈谷市交通バリアフリー基本構想に基づき、刈谷駅周辺の重点整備地区における特定道路、特定経路の整備を進め、令和元年度までに目標指標を達成することができました。	道路建設課 都市交通課	52
	3	人にやさしい街づくりの推進	愛知県の「人にやさしい街づくりの推進に関する条例」に基づき、子どもと子育て家庭にも配慮した都市環境の整備を進めます。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	特定施設整備計画届出書受付件数：30件 適合証交付請求に対する副申件数：3件	条例に基づく適切な届出状況から制度が十分定着されていることが確認できる。	建築課	52
6-2 安全・安心なまちづくり	1	安全教育の充実	警察、学校、幼稚園、保育園等と連絡を密にし、非行や犯罪、交通事故を防止する教育及び啓発を行います。	人口1,000人当たりの子どもの死傷者数(人)	0.5	0.5	0.5	0.4	0.3	0.4	市内全幼稚園・保育園児を対象に交通安全教室を、市内全小学校4年生を対象に自転車の安全な乗り方教室、小学校1年生を対象とした歩行訓練を行い、繰り返し交通安全教室を開催しました。 また、年4回ある交通安全運動期間や安全なまちづくり運動期間中には、警察や関係団体と協力して交通安全及び防犯に関する啓発活動を行いました。	幼稚園・保育園児対象の交通安全教室や小学校4年生対象の自転車の安全な乗り方教室及び小学校1年生対象の歩行訓練を開催し、幼児・児童の交通安全意識向上を図りました。 また、警察や関係団体と協力した交通安全及び防犯に関する啓発活動を行い、幼児・児童の非行や犯罪被害、交通事故防止を図りました。	くらし安心課	53

## 基本目標6 子どもにやさしいまちづくり

頁―「刈谷市子ども・子育て支援事業計画」の中での頁数

基本施策	施策	内容	指標項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R元目標	実績詳細(令和元年度)	R元年度までの総括	担当課	頁	
	2	通学路の安全点検	通学路の安全点検を実施し、歩道の整備、カラー舗装、地下道への非常用警報機の設置など危険か所の改善を行います。	安全点検件数(件)	120	97	85	97	73	81	小中学校等から要望のあった危険箇所73箇所を点検し、対策の必要性が高い23箇所を対応(予定を含む)しました。 危険箇所については、小中学校、刈谷警察署及び愛知県等の関係機関の代表者を委員とする「刈谷市通学路交通安全対策連絡協議会」を年2回開催し、対策の必要性を協議し、また、過去2年間に対策を講じた箇所の効果を検証しました。	関係機関と連携しながら危険箇所の対策について協議し、過去の検証結果をもとに対応することができました。	教育総務課	53
	3	防犯灯・道路安全灯の整備	夜間の防犯や交通安全を確保するため、防犯灯・道路安全灯を設置します。	犯罪や事故への不安がなく安心して外出できると思う市民の割合(%)	—	63	—	62	—	65	地区からの要望に基づき、夜間の防犯や交差点等における交通安全のため防犯灯及び道路安全灯を設置しました。	地区からの要望に基づき、夜間の防犯や交差点等における交通安全のため必要な箇所へ防犯灯及び道路安全灯を設置し、街頭犯罪等の抑制を図りました。	くらし安心課	53
	4	子ども110番の家との連携	警察と連携し、登下校時等に子どもが不審者に遭った時に駆け込むことができる「子ども110番の家」について周知を図ります。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	警察と連携し、登下校時などに子どもが不審者にあった時に駆け込むことができる家について、子どもたちに周知しました。また、小中学校ごとに安全マップの作成に取り組みました。	警察と連携し、登下校時などに子どもが不審者にあった時に駆け込むことができる家について、子どもたちに周知しました。また、小中学校ごとに安全マップの作成に取り組みました。	学校教育課	53
	5	防犯訓練等の実施	小中学校・幼稚園・保育園において、不審者侵入時の対応等について防犯訓練を実施します。また、小中学校の全児童・生徒に防犯ブザーを配布します。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	【子ども課】 各幼稚園・保育園において、いろいろな場面を想定して、年に2回以上不審者侵入時の対応等について防犯訓練を実施しました。 【学校教育課】 ・小学校1年生全員に防犯ブザーを配付しました。 ・各学校で年1回以上、不審者対応の防犯訓練を実施しました。	【子ども課】 各幼稚園・保育園において、様々な場面を想定して、年に2回以上不審者侵入時の対応等について防犯訓練を実施し、安心安全な園運営に努めました。 【学校教育課】 ・小学校1年生全員に防犯ブザーを配付しました。 ・各学校で年1回以上、不審者対応の防犯訓練を実施しました。	子ども課 学校教育課	53
	6	地域の防犯情報の共有	小中学校・幼稚園・保育園の情報交換を密にするとともに、地域安全パトロール隊との連携を図ります。また、学校安全緊急情報共有化広域ネットワークを活用し、不審者等の情報を共有し、防犯に努めるとともに、刈谷市防犯メールにより、保護者等への情報提供を実施します。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	【子ども課】 小中学校・幼稚園・保育園・地域安全パトロール隊等と情報共有し、園内で子どもたちの安全確保に努めた。また、保護者にも情報提供をし、登降園時や家庭でも安全確保に努めてもらうよう、保護者にも情報提供をすることで、子どもにやさしいまちづくりに努めました。 【学校教育課】 ・各学校でスクールガードを組織し、市内で3名のスクールガードリーダーがその指導にあたりました。 ・不審者に関する情報を学校安全緊急情報共有化広域ネットワークを活用して共有しました。 ・不審者情報等、必要に応じて「刈谷市メール配信サービス」を利用して情報提供しました。	【子ども課】 小中学校・幼稚園・保育園・地域安全パトロール隊等と情報共有し、園内で子どもたちの安全確保に努め、登降園時や家庭でも安全確保に努めてもらうよう、保護者にも情報提供をすることで、子どもにやさしいまちづくりに努めました。 【学校教育課】 ・各学校でスクールガードを組織し、市内で3名のスクールガードリーダーがその指導にあたりました。 ・不審者に関する情報を学校安全緊急情報共有化広域ネットワークを活用して共有しました。 ・不審者情報等、必要に応じて「刈谷市メール配信サービス」を利用して情報提供しました。	子ども課 学校教育課	53

## 基本目標6 子どもにやさしいまちづくり

頁—「刈谷市子ども・子育て支援事業計画」の中での頁数

基本施策	施策	内容	指標項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R元目標	実績詳細(令和元年度)	R元年度までの総括	担当課	頁	
	7	健やかに育む環境づくりの推進	愛知県青少年保護育成条例に基づき、有害環境から青少年を保護するとともに、街頭補導により、青少年の非行防止に努めます。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	街頭補導を行い、声かけ指導や有害環境等の発見に努めました。補導実施延日数307日、補導従事者延人数752人、声かけ指導件数38件、有害環境発見件数0件。	学校と地域が連携して街頭補導等を行い、青少年が健やかに育む環境づくりを推進することができた。	生涯学習課	53	
	8	チャイルドシートの貸出	緊急かつ一時的に自分の家庭外の乳幼児を乗せるため、チャイルドシートの貸し出しを行います。	チャイルドシート貸出回数(回)	191	201	188	217	204	250	お孫さんの一時帰省による緊急時の貸出など、子どもの安全のためチャイルドシートやベビーシート、ジュニアシートの貸出を行いました。	市民の方の要望に基づき、子どもが安全に車両に乗ることができるよう適切に貸出をし、安全運転意識の向上及び交通事故による被害の軽減を図りました。	くらし安心課	53
6-3 遊び場の確保	1	幼稚園の園庭開放	園児の降園後、幼稚園の園庭を開放し、親子の遊び場を提供します。	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	公立幼稚園16園で園児の降園後に園庭開放し、親子の遊び場の提供をしたことで、子どもたちは慣れた場所で安心して遊ぶことができた。保護者も子どもの様子を見守りながら、親同士の交流をもつことができました。	公立幼稚園16園で園児の降園後に園庭開放し、親子の遊び場の提供をしたことで、園児の降園後の遊び場が確保でき、子どもにやさしいまちづくりに努めてきました。	子ども課	54
	2	公園等の整備	快適で魅力あるまちづくりを推進するため、新しい公園の整備や既存公園の再整備を計画的に進めます。	公園や緑地が充実していると思う市民の割合(%)	—	71	—	66	—	79	・日高公園の園路と休憩施設等の再整備を実施。 ・伊勢山公園の整備を実施。 ・岩ヶ池公園について、スマートICの整備に伴う拡張整備に向けた用地買収を実施。	新しい公園の整備や既存公園の再整備を計画的に進め、快適で魅力あるまちづくりを推進することができた。	公園緑地課	54
	3	公園等の維持管理	快適な公園環境の維持と、安全・安心の確保のため、遊具の点検、砂場の清掃、樹木管理等を実施します。	公園や緑地が充実していると思う市民の割合(%)	—	71	—	66	—	79	公園、児童遊園の巡視点検を2回/月の頻度で実施しました。専門業者による遊具の安全点検を実施しました。砂場の消毒清掃を夏期と冬季に1回ずつ実施し、衛生管理に努めました。高木剪定、低木の刈込みを実施し、園内の見通しを確保しました。	遊具の点検、砂場の清掃、樹木管理等を実施し、快適な公園環境の維持と安全・安心の確保ができた。	公園緑地課	54
	4	住民参加型の公園づくり	誰もが快適に利用できる魅力ある公園を整備するため、地区住民に設計段階から参加を促し、管理運営等に住民の協力を得るなど、住民に愛される公園づくりに取り組みます。	公園や緑地が充実していると思う市民の割合(%)	—	71	—	66	—	79	・日高公園の園路と休憩施設等の再整備を実施 ・伊勢山公園の整備を実施	地区住民に設計段階から参加を促し、管理運営等に住民の協力を得るなどして、住民に愛される公園づくりに取り組み、誰もが快適に利用できる魅力ある公園を整備することができた。	公園緑地課	54